国際ロータリー第2560地区　ガバナー月信

GOVERNOR'S 10

2026-27 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2560

MONTHLY LETTER Vol.04　2026.OCTOBER



地区補助金事業 プロから学ぶ動画×実践トレーニング 8月2日（塩沢中学校 第一体育館にて）

月信10月号 Contents

① ガバナーメッセージ
② 新発田 RC 社会奉仕事業
③ 長期受入学生オリエンテーション
④ 森田年度ガバナーエレクト結団式
⑤ 第 2 回米山記念奨学生親睦交流会
⑥ 新発田 RC 創立 70 周年記念式典
⑦ 第 2 分区 IM
⑧ 国際奉仕フォーラム
⑨ 財団委員会通信
⑩ 地区主要行事予定（10 月・11 月）
⑪ 新入会員紹介・訃報
⑫ ハイライトよねやま

Rotary 第2560地区

CREATE LASTING IMPACT

国際ロータリー第2560地区 ガバナー 富山 洋
2026-27年度 ガバナー事務所
〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町1574 B1
TEL.025-222-2561　FAX.025-222-2565



「人生はありがとうを集める旅路」

2026-27 年度ガバナー
富山　洋（雪国魚沼 RC）

ガバナーになったからといって、会社の仕事が待ってくれるわけではありません。
ありがたいことに、私が不在の間も社員の皆さんが自ら考え、判断し、報告を重ねてくれるおかげで、会社は滞りなく動いています。これは、もし私が突然入院するような事態になったとしても組織がしっかり機能するための、ある意味「予行演習」なのかもしれません。
もちろん、代表者としての判断が必要な案件もあります。「申し訳ないが十八時には戻るので、その後会議をしたい」とお願いすると、皆が時間を調整して集まってくれます。本当にありがたいことです。
人は立場が変わると見える景色も変わると言います。まさにその通りで、私は今まで以上に、多くの方々に支えられていることを実感しています。
公式訪問も同じです。皆さんの貴重な時間をいただき、話を聴いていただけることに感謝しています。いただいた質問やご意見を参考にしながら、毎回内容を見直しています。
先日、「講話が事務的で報告書のようだった。もっとガバナー自身の話が聞きたい」というご意見をいただきました。その言葉にハッとさせられました。
スライドを読むだけなら、極端な話、資料を送るだけでも済むかもしれません。
公式訪問が始まる時、私は皆さんとの対話を何より大切にしたいと考えていました。それなのに、いつの間にか資料を読むことが目的になっていたのです。気づきを与えてくださった皆さんに、心から感謝しています。
人間が生きていくうえで欠かせない三つのものがあります。
それは、「師」「道」「友」です。ロータリーには、そのすべてがあります。
友は時に師となり、共に学び、共に成長する仲間になります。振り返れば、私の人生も多くの師、歩むべき道、そしてかけがえのない友によって支えられてきました。
ロータリーを深く探究される方もいますが、私自身はまだその境地には至っていません。ただ「立場が人を育てる」ことを実感しています。
偉そうなことを申し上げていますが、私は決して立派な人間ではありません。それでも大切にしたいのは、感謝する心です。そして、誰かから「ありがとう」と言っていただけるような行動を続けることです。
人は一人では生きていけません。支え合い、助け合い、励まし合いながら歩んでいくのが人生です。
「人生はありがとうを集める旅路」、これは、私が師と仰ぐ佐藤芳直先生のお言葉です。
ありがとうを集めることは、ありがとうを伝え続けることなのかもしれません。

※今回から、ガバナー月信にキーワードを埋め込みます。2027 年 5 月号までに掲載されるキーワードをヒントに言葉を完成させてご応募ください。
ご応募いただいた方の中から抽選で 10 名の方へ、私からささやかなプレゼントをお贈りいたします。ぜひ楽しみながら月信をお読みいただければ幸いです。



梅宮アンナ氏をお招きし講演会を開催しました

新発田ロータリークラブ
社会奉仕委員会
委員長
荻野　晴也

新発田ロータリークラブでは社会奉仕事業として地区補助金を活用し９月６日（日）新発田市民文化会館にて梅宮アンナさんの講演会を開催いたしました。

「実体験から学ぶ相続と家族の未来設計講演会」と題し、約 200 名の市民の方へ梅宮さんの実体験から得た知識を提供し、将来市民の皆さんが直面する可能性の高い相続問題や家族間の理解を深め、円滑な家族関係の維持に寄与する講演会ができたと思っています。

スライドを交えて 90 分の講演会でしたが、軽快なトークと笑いもあり、あっという間に時間が過ぎました。また、ご本人が現在も乳がんの治療中ということもあり、がんに対する心構えや、治療の事、医師の説明を真剣に聞くこと、ネットの情報を鵜呑みにしすぎないことなども詳しくお話ししていただきました。

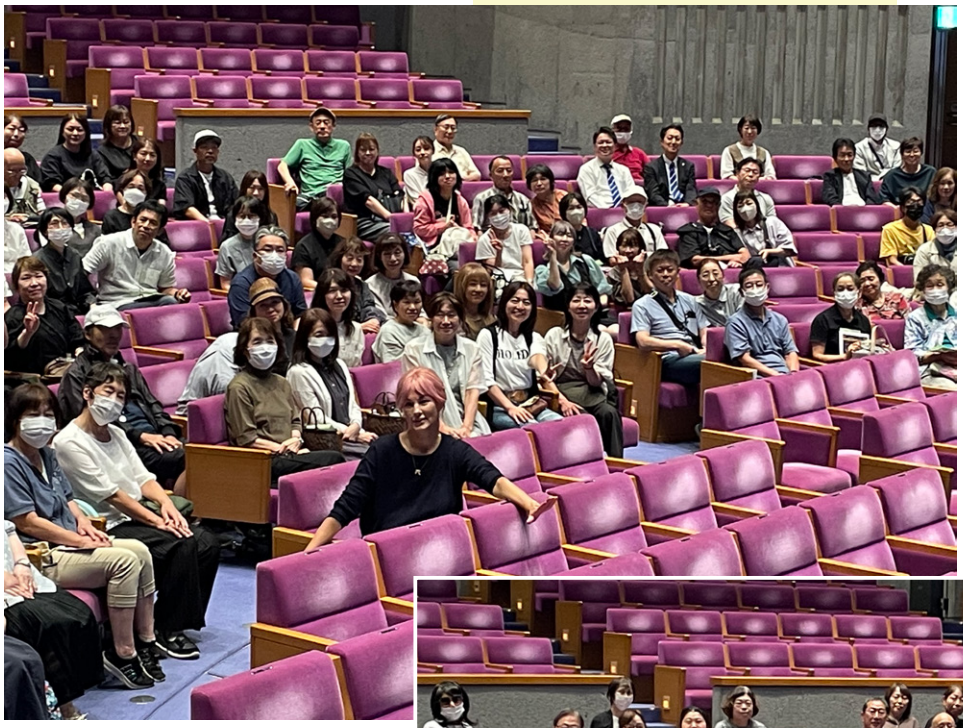
講演会後のアンケートでは、「現在両親のがんの手術・通院と重なるところが多く今日この講演を聞けて良かった。自分に何ができるか、していかなきゃいけないかを改めて思いました。明るいアンナさんに勇気をもらいました」「アンナさんの前向きな生き方、考え、本当に自分の人生に勇気をもらいました」など、TV とは違う講演会の距離感だからこそのお話に、来場者の皆様も満足いただけたことが何よりでした。

最後になりますが、会長、幹事をはじめクラブ会員の方々にお手伝いをお願いし、無事に講演会を開催できましたことに改めて感謝いたします。













長期交換受入学生、ホスト関係者オリエンテーション　報告

青少年交換委員会
副委員長
外山　浩玲（三条 RC）

去る 8 月 23 日（日）ホテルイタリア軒にて、長期受入学生 2 名とホストクラブ・ホストファミリーからご参加いただき、長期交換受入学生、ホスト関係者オリエンテーションを 24 名の参加をいただき開催しました。

はじめに富山ガバナーから「ようこそ日本へ・新潟へお越しくださいました。1 年間精一杯日本語を学んでいただき、新潟（日本）の文化を体験して欲しい」とお言葉をいただきました。

続いて受入留学生のエース君 Ace Wade Dieffenbach（アメリカ）とリオ君 Rio Brendon Fernandes Sampaio（ドイツ）の 2 名より日本語での自己紹介をしていただきました。二人とも簡単な挨拶だけでしたが、しっかりとした流暢な日本語でスピーチされました。1 年後の二人の成長した姿を想像すると楽しみです。

続いて、受入学生オリエンテーションとして青少年交換委員会担当ガバナー事務局のデュケット智美さんから Information Book を基に、日本の生活をより良いものにするための情報を共有して貰いました。「この 1 年間、日本で生活する間、他の交換留学生たちの模範となり、同時にロータリー、自国、そして何よりも「自分自身」を代表する親善大使として行動することが求められます。だからこそ、これらすべての条件やルールに対して、真剣に取り組んでほしい。また、日本滞在中には、ロータリアンや奉仕団体、青少年団体などの前でスピーチを求められる機会もあります。その際には、自分自身や母国について紹介し、自分という存在を世界に伝えるチャンスととらえ、取り組んでください。」と説明されました。

その後、青少年交換委員会の市川委員長から「ホストクラブ・カウンセラーマニュアル」「ホストファミリーマニュアル」の順に詳細な説明をしていただきました。

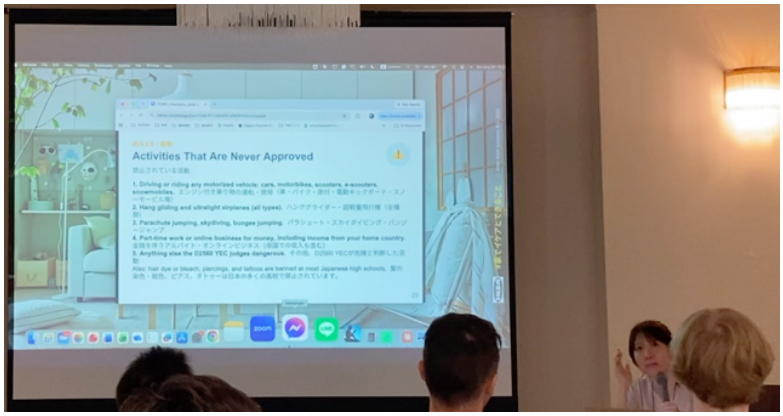
最後に青少年奉仕委員会の横山委員長から講評をいただき、「今日のオリエンテーションで上がった課題・確認事項にしっかりと取り組み、世界一安全なロータリー留学制度にブラッシュアップして欲しい」とご指導いただきました。

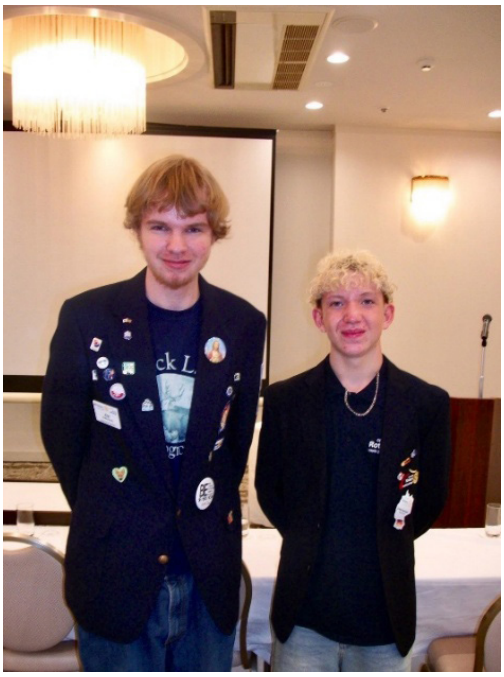
最後になりますが、今後も青少年交換事業に対してご理解とご協力を承りますようお願い申し上げ、報告とさせていただきます。








Activities That Are Never Approved







森田年度結団式
第7分区一丸となって、新たな年度へ

2027-28 年度地区幹事
神谷　勇一（糸魚川中央 RC）

8 月 29 日、上越市の「ホテルハイマート」において、2027-28 年度「森田年度結団式」が盛大に開催されました。

当日は残暑厳しい中にもかかわらず、多くの皆様にご参集いただき、森田年度の門出に際して心温まる激励を賜りました。ご出席いただきました皆様に、改めまして心より御礼申し上げます。

結団式に先立ち、諮問委員会も開催され、遠方より多くの諮問委員の皆様にお越しいただきました。これまでの経験を踏まえた貴重なご意見をいただきましたことをご報告いたします。

結団式では、ご来賓の富山ガバナーより、ご自身の年度を振り返りながら、ガバナーとしての経験をもとに、森田年度に向けた貴重なアドバイスと温かい激励のお言葉を頂戴しました。

また、森田ガバナーエレクトからは、今回の結団式を「実質的な森田年度の公式行事のスタート」と位置づけ、第 7 分区全体から森田年度の運営を支えていただくことへの感謝が述べられました。そのうえで、これから始まる一年間を第 7 分区の皆様とともに力を合わせて築いていくため、改めて皆様へのご理解とご協力をお願いするとともに、森田年度に予定されている「4 大大会」の糸魚川開催についても紹介されました。

会場は終始和やかな雰囲気に包まれながらも、新たな年度への期待と決意が感じられる、実りある結団式となりました。

ご多用の中ご参集いただきましたパストガバナーの皆様、森田年度ガバナー補佐、第 7 分区の会長・会長エレクトの皆様、ガバナースタッフ、事務局の皆様に、心より感謝申し上げます。

いよいよ森田年度が本格的に動き始めます。

第 7 分区が一丸となり、互いに支え合い、力を結集しながら、実りある一年を築いてまいります。森田年度のさらなる飛躍に向け、皆様の変わらぬご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。


国際ロータリー第2560地区　2027-2028
Rotary
森田年度結団式


国際ロータリー第2560地区　2027-2028
Rotary
森田年度結団式
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2560
Rotary
Club of
Echigo Kasugayama
JAPAN





米山記念奨学生第２回親睦交流会 ～佐渡の旅～

米山記念奨学委員会
委員
伊藤　博之（村松 RC）

８月 30 日（日）･31 日（月）の２日間､佐渡を舞台に米山記念奨学生親睦交流会が開催されました。奨学生 24 名、カウンセラー 14 名、地区委員 12 名の総勢 50 名が参加し、佐渡の歴史や文化、自然に触れながら交流を深めました。

１日目は新潟港からフェリーで佐渡へ渡り、佐渡歴史伝説館、西三川ゴールドパーク、佐渡金山、北沢浮遊選鉱場跡などを巡りました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、北沢浮遊選鉱場跡に到着する頃には、それまでの大雨が奇跡的に上がりました。雨上がりならではの澄んだ空気と鮮やかな緑に包まれ、普段とはまた違った美しい景色を見ることができ、参加者にとって思い出深いひとときとなりました。

宿泊先の八幡館では懇親会を行い、その後の二次会ではカラオケを楽しみました。母国の歌を披露する奨学生、日本の懐かしい歌謡曲を歌う方、さらには最近の日本の歌を歌う方まで、選曲も実にさまざま。国籍や世代を越えて一緒に歌い、笑い、大いに盛り上がりました。音楽には言葉や文化の違いを越えて人と人をつなぐ力があることを、改めて感じる時間でもありました。

２日目は、たたこう館、矢島たらい船、尾畑酒造、トキの森公園などを訪れました。

中でも「たたこう館」では、約２メートルもある巨大な和太鼓を実際に叩くという貴重な体験をしました。目の前で見る太鼓の大きさにも驚きましたが、体に響くような迫力ある音は圧巻で、奨学生の皆さんにとっても佐渡の伝統文化を肌で感じる機会になったのではないでしょうか。

今回の交流会には、中国、モンゴル、インド、カンボジア、ベトナム、ミャンマー、韓国、マレーシア、メキシコなど、さまざまな国・地域から奨学生が参加しました。

米山記念奨学事業は、奨学金によって留学生の学業を支援するだけではありません。ロータリアンとの交流や日本文化に触れる経験を通して相互理解を深め、将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となる人材を育てていくことも、この事業の大切な意義の一つです。

佐渡の歴史や文化に触れ、同じ景色を見て、同じ太鼓を叩き、夜には一緒に歌って笑う。そんな時間を共に過ごしたことで、国籍や世代を越えて参加者同士の距離が少しずつ縮まっていくことを実感した２日間となりました。

最後になりますが、ご参加いただきました奨学生、カウンセラーの皆様、そして交流会の準備・運営にご尽力いただきました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

また、日頃より米山記念奨学事業をご理解いただき、温かいご支援をいただいております地区ロータリアンの皆様に、改めて深く感謝申し上げます。皆様から寄せられるご支援が、こうした奨学生との交流、そして国際理解を育む活動につながっています。

今後とも米山記念奨学事業への変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

















新発田 RC 創立 70 周年記念式典・祝賀会

新発田ロータリークラブ
会長
渡邊　明紀

新発田ロータリークラブは、2026 年 9 月 5 日（土）、月岡温泉ホテル清風苑におきまして、創立 70 周年記念式典ならびに祝賀会を総勢約 200 名の皆様のご臨席を賜り挙行いたしました。

当クラブは、新潟ロータリークラブのご指導の下、1957 年（昭和 32 年）5 月 3 日に国際ロータリーより加盟認証をいただき、活動をスタートいたしました。以来 70 年、先輩会員の皆様が地域とともに積み重ねてこられた信頼と努力の上に、今日の当クラブが成り立っております。

当日は、ロータリー関係者として国際ロータリー第 2560 地区・富山洋ガバナー、親クラブである新潟ロータリークラブ会長代理の高橋秀松様、歴代パストガバナーの皆様、近隣ロータリークラブの皆様、友好クラブである沼田ロータリークラブ・加賀ロータリークラブの皆様、そして海外からはタイ・バンコーレンロータリークラブ、台湾・蘆州重陽ロータリークラブの皆様をお迎えいたしました。また、二階堂馨新発田市長、島津延明新発田商工会議所会頭をはじめ、多くのご来賓にご臨席を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

70 周年に際し記念事業として、「モノの寄贈よりもコトを市民に届けたい」という考えのもとに企画いたしました。2026 年 5 月 24 日、新発田市民文化会館に元 WBC 日本代表監督の栗山英樹氏をお迎えし、「夢は正夢」と題してご講演いただきました。子どもたちや一般市民の皆様に向けて、夢を描き、持ち続けることの意味を語りかけてくださいました。形あるものを贈るのではなく、次代を担う子どもたちの心に残る一日をお届けできたものと考えております。

創立以来当クラブは“友好・調和・連携”を礎とし 4 つのテストを実践し社会に貢献して参りました。特に“調和”は当クラブの良き伝統だと考えております。そしてこの 70 周年にあたり当クラブはスローガンとして「不易流行」を掲げております。変えてはいけないものは大切にしつつ、時代に応じて変えるべきものは変えていく。そしてそれを見極める知恵を持つ。新発田ロータリークラブにとって 70 年という節目は、クラブの原点を会員一同で確かめ直し、これからの未来に想いを馳せる大切な機会となりました。

結びに、本事業の開催にご尽力いただきましたすべての皆様、そしてご臨席を賜りました皆様に、心より感謝申し上げます。今後とも新発田ロータリークラブへのご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

















第２分区の IM を終えて

第２分区ガバナー補佐
赤塚　裕介（新潟万代 RC）

９月５日土曜日、快晴の青空のもと、国際ロータリー第 2560 地区第２分区の IM を無事に開催することができました。多くの皆様にご参加いただき、盛会のうちに終えることができましたことを、心より感謝申し上げます。

ご来賓に富山ガバナーの代理として、地区筆頭副幹事の小野塚徹様と基調講演の講師として、三条南ロータリークラブ所属、株式会社アイサポート代表取締役社長の木村譲様にもご出席を賜り、大きく分けて３部構成で開催いたしました。

第１部は、「わがクラブの会員増強」をテーマとしたシンポジウムです。各クラブの代表者の皆様にご登壇いただき、1 クラブ約 10 分という限られた時間の中で、それぞれのクラブの取り組みや考えを発表していただきました。他クラブの活動を知ることは、自クラブを見つめ直す貴重な機会になったのではないかと思います。

第２部は、「気軽に AI を活用しよう」と題した木村様の基調講演です。身近になりつつある AI について、分かりやすく、そして興味深く学ぶことができました。具体的な活用例を交えたお話に、皆様も熱心に耳を傾けていました。AI をもっと身近に感じ、ロータリー活動にも活かしてみたいと思える、実りある講演となりました。

そして第３部は懇親会です。スマートフォンを使った参加型クイズ大会「IM ロータリークラブ オールスター感謝祭」では、会場全体が大いに盛り上がり、笑顔と歓声に包まれました。まさに学びと親睦を実感できる時間となりました。

新潟万代ロータリークラブでは、約１年前に IM 実行委員会を立ち上げ、皆様に楽しんでいただける IM を目指して準備を進めてまいりました。ここまで無事に開催できましたのも、ご来賓のお二人をはじめ、シンポジウムにご登壇いただいた皆様、そして当日ご出席いただいたすべての皆様のお力添えがあったからこそです。心より御礼申し上げます。

今回の IM が、皆様にとって新たな学びと交流のきっかけとなり、今後のロータリー活動に少しでもつながるものとなりましたら幸いです。本当にありがとうございました。






第2560地区 2026-2027年度 第2分区
ターシティーミーティング


Rotary
国際ロータリー 第2560地区 2026-2027年度 第2分区
インターシティーミーティング
「気軽にAIを活用しよう
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2560




Niigata
Grand Hotel



国際奉仕フォーラム開催

国際奉仕委員会
委員長
原田　千佳子（十日町 RC）

2026-27 年度国際奉仕フォーラムを 9 月 6 日（日）関係委員会と連携して長岡グランドホテルで行いました。当日は富山ガバナー、長谷川ガバナーノミニー、各分区のガバナー補佐、各クラブ担当者、学生の皆さん約 100 名が参加してくださいました。

国際奉仕部門では、海外友好クラブとの交流報告を新発田城南 RC、白根 RC、糸魚川中央 RC のお三方から発表していただきました。

新発田城南 RC	会長	佐藤　正剛
白根 RC	国際奉仕委員長	中野　幹也
糸魚川中央 RC	直前会長	齊藤　孝之

青少年奉仕部門では、青少年交換委員会から交換学生の皆さんより帰国報告、長期受入学生の方々からは自己紹介をしていただきました。

青少年交換委員会		青少年交換委員長　市川　真紀（高田東 RC）
（帰国報告）	短期交換学生	大塚　梨温（スポンサークラブ高田東 RC）
		副島　勇斗（スポンサークラブ新潟西 RC）
	長期交換学生	大竹　新光（スポンサークラブ高田東 RC）
		東　菜月（スポンサークラブ村上 RC）
（自己紹介）	長期受入学生	リオ　ブレンドン　フェルナンデス　サンパイオ（ホストクラブ新潟西 RC）
		エース　ウェイド　ディーフェンバック（ホストクラブ新潟南 RC）
インターアクト委員会		インターアクト委員長　大島　隆一郎（高田東 RC）
ライラ委員会		ライラ委員長　細野　仁（高田 RC）
		2025-26 年度米山記念奨学生　ライ　キンシュウ（世話クラブ高田東 RC）

ローターアクト委員会　　ローターアクト委員長　　横尾　良一（新井妙高 RC）
　地区ローターアクト代表　大塩　悠太郎（三条 RAC）
青少年奉仕委員会　　青少年奉仕委員長　　横山　亘（高田東 RC）
より発表していただきました。

　講評を富山ガバナーにしていただき、最後にバルセロナ国際大会の概要を説明して参加を呼びかけました。（2027 年 6 月 26 日（土）～ 30 日（水））







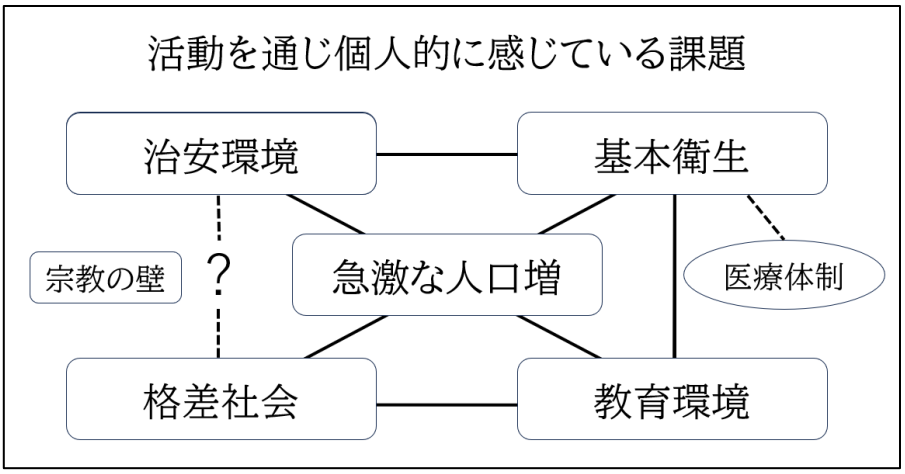
「世界でよいことをしよう」
財団委員会通信

パキスタン　ポリオ根絶活動

～世界中の子供達との約束を果たしましょう～

ロータリー財団委員会
寄付・資金・ポリオプラス委員会
副委員長　髙坂　光一（高田 RC）

1988 年、世界 125 ヶ国で新規症例が報告された野生株型ポリオは、国際ロータリーとパートナー団体の努力が実り、現在アフガニスタンとパキスタンの 2 常在国、99.99%根絶と大きな成果を上げています。私は 2019 年から残る常在国の一つパキスタンの根絶活動に参加していますが、活動を通じいくつかの課題を感じてきました。（下図参照）



この中で特に課題と感じているのはパキスタン国内での急激な人口増です。

パキスタンは 2025 年度の人口は約 2 億 5 千万ですが今世紀末には 5 億人を超えると予想され、且つイスラム教の「仲間を大切にする」という考えの下、他国からの移民流民も多く現在も現地では実態調査は困難と聞いています。

他にもアフガニスタン国境付近の紛争、政府の影響が及ばない自治圏の影響もあり、同国で 26 万人とも 40 万人ともいわれるポリオワーカーの方々が 24 時間 365 日投与を行っているものの根絶はもう少し時間がかかるかもしれません。

ただ、もしここで私たちが根絶を諦めてしまうと WHO から今後 10 年で毎年 20 万の新規症例が発生されると危惧されているので停めるわけにはいかないのです。

ロータリー章典には「ポリオプラス・プログラムが成功裏に完了するまで、いかなる他の組織全体のプロジェクトも検討されない」と謳われ、ポリオ根絶はロータリーの最優先項目であることは変わりありません。また、ポリオは人類が根絶可能な 3 つの感染症の一つと言われています。天然痘は既に 1980 年根絶を果たしました。根絶まであと一歩のところまできた野生型ポリオを、人類 2 番目の感染症根絶という快挙となるよう皆様にご理解ご協力をお願いいたします。

私たちは毎年 30 ドルのポリオ根絶寄付を求められていますが、「何に使われているかわからない」という声を聞きます。今年台北の国際大会のポリオ分科会で発表された資料では、2025-26 年度ポリオ根絶に対するロータリー拠出額 1 億 5 千万ドルの配分が示されました。

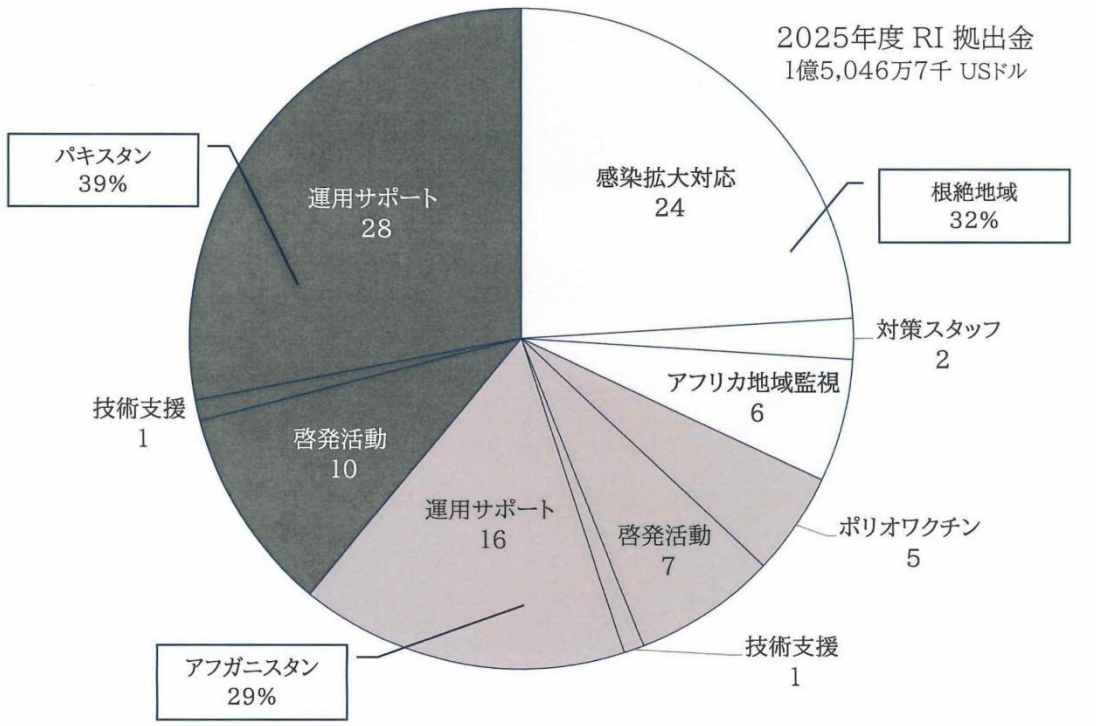
使途は大きく常在国 2 ヶ国への支援 70%と根絶済地域での状況監視、感染拡大防止対応 30%に充てられ、常在国 70%の内訳はアフガニスタン 30%、パキスタン 40%です。

私たちロータリアンの寄付にはゲイツ財団が 2 倍上乗せをしてくれ結果 4 億 5 千万ドルとなり同じ配分で利用されています。

一日も早いポリオ根絶を達成し、世界の子供達との約束を果たすため、是非ご理解を賜り年 30 ドルの寄付目標に対してご協力の程よろしくお願いいたします。

もし、また寄稿のチャンスをいただければ、私たちがパキスタンでワクチン投与の他、様々な課題に対し行い始めたことについても記させてもらいたいと考えています。

私たちの寄付の使われ方（台北国際大会：ポリオ分科会資料要約）



第 2560 地区　2026-27 年度 8 月末　会員数報告

R　C	例会数	My Rotary アカウント登録率	会員数 2026年7月1日	会員数 8月末会員数	会員数 うち女性	会員数 増減
第1分区(9クラブ)	／	-	375	381	46	6
新発田	4	29.9%	94	97	4	3
村上	3	26.3%	38	38	7	0
水原	3	33.3%	33	33	2	0
中条	3	100.0%	44	44	3	0
新発田城南	4	35.9%	38	40	7	2
豊栄	2	40.0%	20	20	2	0
新発田中央	3	23.9%	45	46	6	1
中条胎内	3	54.1%	37	37	9	0
村上岩船	3	25.9%	26	26	6	0
第2分区(9クラブ)	／	-	476	485	39	9
新潟	3	47.5%	75	80	3	5
新潟東	3	22.5%	80	80	12	0
新潟南	3	38.1%	111	113	9	2
佐渡	2	66.7%	3	3	0	0
新潟西	3	70.7%	56	58	4	2
佐渡南	3	15.9%	44	44	4	0
新潟北	4	64.3%	42	42	0	0
新潟中央	2	42.9%	28	28	1	0
新潟万代	3	54.1%	37	37	6	0
第3分区(5クラブ)	／	-	100	101	9	1
新津	3	52.9%	16	17	1	1
村松	3	56.5%	23	23	2	0
白根	3	28.1%	32	32	2	0
新津中央	3	41.7%	24	24	4	0
阿賀野川ライン	3	60.0%	5	5	0	0
第4分区(11クラブ)	／	-	331	337	33	6
三条	3	19.6%	56	56	1	0
燕	2	39.0%	39	41	3	2
加茂	3	24.0%	25	25	4	0
三条南	3	50.0%	39	40	3	1
分水	4	62.9%	34	34	6	0
見附	3	10.0%	21	21	1	0
吉田	3	5.0%	19	20	3	1
三条北	2	27.9%	41	43	4	2
巻	3	9.5%	21	21	2	0
田上あじさい	不明	16.7%	5	5	2	0
三条東	3	32.3%	31	31	4	0

R　C	例会数	My Rotary アカウント登録率	会員数 2026年7月1日	会員数 8月末会員数	会員数 うち女性	会員数 増減
第5分区(7クラブ)	／	-	284	288	27	4
長岡	3	60.4%	46	48	4	2
柏崎	3	53.1%	46	49	0	3
長岡東	3	29.8%	57	57	6	0
柏崎東	3	22.5%	40	40	4	0
栃尾	3	52.9%	17	17	1	0
長岡西	3	25.6%	43	43	3	0
柏崎中央	3	29.4%	35	34	9	-1
第6分区(6クラブ)	／	-	121	123	14	2
十日町	2	26.3%	37	38	8	1
小千谷	3	46.7%	30	30	3	0
雪国魚沼	3	100.0%	27	27	2	0
十日町北	2	0.0%	9	9	1	0
津南	3	33.3%	10	11	0	1
越後魚沼	3	50.0%	8	8	0	0
第7分区(7クラブ)	／	-	317	319	26	2
高田	3	41.8%	64	67	3	3
直江津	3	29.5%	78	78	8	0
新井妙高	3	52.6%	38	38	1	0
糸魚川	3	90.2%	41	40	3	-1
高田東	3	69.7%	33	32	2	-1
糸魚川中央	3	54.1%	36	37	5	1
越後春日山	2	85.2%	27	27	4	0

クラブ数	54　クラブ
7月1日会員数	2,004　人
8月末会員数	2,034　人
女性会員数	194　人
純増減会員数	30　人
My Rotaryアカウント登録率	42.2　%

地区主要行事予定

2026年9月24日現在

年	月	日		行　事	会　場
2026年(R8)富山年度	10月	地域社会の経済発展月間・米山月間			
		3	(土)	新発田城南RC創立60周年記念式典	ホテル華鳳
		3	(土)	富山年度　第7分区IM　(小川G補佐・高田東)	デュオ・セレッソ
		4	(日)	第15回 危機管理委員長会議	AP八重洲 P＋ZOOM
		5	(月)	①新発田RC　公式訪問	割烹　志まや
		7	(水)	①新発田中央RC　公式訪問	割烹　志まや
		8	(木)	④三条RC、加茂RC、三条南RC、田上あじさいRC　公式訪問	加茂市産業センター
		10	(土)	富山年度　第3分区IM　(小山G補佐・白根)・公式訪問(第3分区)	サルナート吉運堂
		13	(火)	④見附RC、三条北RC、三条東RC　公式訪問	ホテル　つるや
		15	(木)	④巻RC　公式訪問	仕出し割烹　魚政
		16	(金)	④吉田RC　公式訪問	高志の宿 高島屋
		17	(土)	富山年度　第1分区IM　(鹿嶋G補佐・中条胎内)	中条グランドホテル
		20	(火)	⑦直江津RC、越後春日山RC　公式訪問	ホテルセンチュリーイカヤ
		22	(木)	①村上RC、村上岩船RC　公式訪問	大観荘せなみの湯
		24	(土)	ロータリー財団・米山合同メジャードナー感謝の集い	ホテルイタリア軒
		27	(火)	②新潟RC　公式訪問	ホテルイタリア軒
		29	(木)	④燕RC　公式訪問	燕三条ワシントンホテル
		31	(土)	富山年度　第6分区IM　(藤澤G補佐・小千谷)・公式訪問(第6分区)	スポーツコミュニティプレイス「ソコラテ」
	11月	ロータリー財団月間			
		1	(日)	第6分区IM親睦ゴルフコンペ	小千谷カントリークラブ
		7	(土)	富山年度　地区大会1日目／RI会長代理歓迎晩餐会	NASPAニューオータニ
		8	(日)	富山年度　地区大会2日目	NASPAニューオータニ
		14	(土)	森田年度クラブ会長幹事ラーニング	ホテルイタリア軒
		14～15	(土～日)	日本ロータリー学友会全国総会 静岡大会	浮月楼、徳川慶喜公屋敷跡
		21	(土)	2027-28年度長期派遣学生選考試験	ホテルオークラ新潟
		21	(土)	米山記念奨学生学友会総会	ホテルオークラ新潟
		21	(土)	米山面接委員オリエンテーション	ホテルオークラ新潟
		28	(土)	補助金管理セミナー	ホテルイタリア軒

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
村松	石塚　成己	2026.08.01	はばたき信用組合五泉支店	常務理事・支店長	金融業
糸魚川中央	清水　真由子	2026.08.01	㈲ホウライ　ヒスイ調剤薬局	管理薬剤師	調剤薬局
新津	小出　薫	2026.08.05	越後天然ガス㈱	代表取締役社長	都市ガス供給
柏崎	長島　昭行	2026.08.05	相陽鋼機㈱	常務取締役	鋼材卸販売業
柏崎	三井田　勝毅	2026.08.05	サンワーズ㈱	代表取締役社長	自動車修理
新発田中央	八木　敏之	2026.08.19	すき焼八木		飲食業
新発田	小池　実千代	2026.08.24	㈱アップグレード	代表取締役	学習塾
新発田	渡邉　亜美	2026.08.24	㈱リリーフセキュリティ	代表取締役	警備業
新潟西	相羽　雄太	2026.08.27	㈱クロースコント	代表取締役	プランディング支援業
新潟西	長谷川　彰之	2026.08.27	㈱マルフジ産業	代表取締役	解体工事業
新潟	満留　大介	2026.09.01	NTT東日本㈱	新潟支店長	通信事業
津南	大澤　武志	2026.09.01	ソニー生命保険㈱柏支社	ライフプランナー	金融

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
vol. 318
2026年9月14日
発行

1 台中文心RCが熊本地震の被災地へ100万円を寄付

米山学友を中心に設立された台中文心ＲＣ（第3461地区）が、熊本地震の発生を受け、被災者を支援するための募金活動を実施し、集まった支援金総額100万円を姉妹クラブである大阪うつぼＲＣを通じて第 2720 地区へ届けました。

今回の取り組みは、8 月に開催された同クラブ理事会において何淑鈴（ホシュリン）さん（1984-85／東京城東ＲＣ）から提案されたものです。林岳毅（リンタケキ）会長（2000-01／札幌清田ＲＣ）をはじめ理事会のメンバーもすぐにこの提案に賛同し、募金活動を行うことを決定。8 月 11 日から開始した募金活動では、初日だけで 19 人の会員が協力し、その後も多くの会員から温かい支援が寄せられました。8 月 25 日の締め切りまでわずか 2 週間ほどという短期間でしたが、会員の理解と協力により、目標だった 100 万円の寄付が実現しました。集まった支援金は、被災地の状況やニーズを踏まえた支援計画のもと、被災地の復旧・復興に適切に活用される予定です。

林会長は、「これまで日本と台湾が互いに支え合ってきた精神を大切にし、今回もできる限りの支援をすることで、この温かい善意をつないでいきたいと思いました。今回の支援が被災地の復旧・復興に少しでも役立ち、現地で頑張っている皆さまの力になればと願っています」と語り、クラブ全体で助け合いの活動を実現できたことへの喜びと感謝を表しました。

2 まもなく米山月間資料が届きます（9/24 以降順次到着）

来月 10 月はいよいよ米山月間です。今年も米山月間用資料を全国の皆さまへお届けします。

毎年恒例の『豆辞典』は、米山記念奨学事業についての情報がほぼ網羅されている小冊子です。会員数分お送りしますので、ぜひ 1 人一冊お手元にお持ちください。豆辞典を使って米山奨学事業を説明するためのパワーポイントは、9 月中旬に当財団ＨＰで公開予定です。そのほか「クラブ米山記念奨学委員長のてびき（寄付マニュアル合冊）」「2025 年度事業報告書」「2025 年度決算報告」などを送付します。追加資料のお申し込みは、同封の「追加資料申込書」に記入の上、お送りください。



3 寄付金速報 ― 10 月の米山月間に向けて ―

8 月までの寄付金は、前年同期と比べて 0.2%増（普通寄付金：0.6%減、特別寄付金：1.6%増）、約 50 万円の増加となりました。半期に一度、地区から会員数をご報告いただいていますが、昨年 7 月 1 日時点の 81,250 人に対し、今年度は 81,098 人と約 150 人減少しています。そのような中においても、多くの皆さまから継続してご支援を賜り、心より感謝申し上げます。来月は米山月間です。当財団は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けており、当財団への寄付金については所得税・法人税の税制優遇を受けることができます。また、相続財産からのご寄付については相続税が非課税となります。

前年同期比

＋ 0.2%

普 － 0.6%　特 ＋ 1.6%

10 月の米山月間におきましても、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

4 理事会を開催

8 月 25 日に第 51 回理事会を都内にて開催しました。当日は、全国から 22 人の理事、3 人の監事、役職理事 7 人が出席。若林紀男理事長が議長として進行役を務め、9 つの議案につき、原案通り承認可決されました。また、日本人留学生支援検討タスクフォースの結論を受けて協議している「日本人支援の方向性の件」について意見出しを行い、結論を取りまとめる方向で一致しました。理事会終了後、役職理事候補者指名委員会開催について佐藤芳郎委員長より報告が行われた後、今回をもって退任される理事に感謝状が贈呈されました。

【第 51 回理事会の主な議案】

「2027 学年度海外応募者対象奨学金制度 募集要項一部修正の件」／評議員後任候補者の件／理事・監事候補者の件／2025 年度事業報告／2025 年度計算書類／2026 年度収支予算書一部修正／2026 年度専門委員選任　ほか

5 在大阪モンゴル国総領事に就任

駐日モンゴル国大使館公使参事官として、両国の関係を深めるための活動を行ってきたアルザフグイ デルゲルマーさん（2001-02／川崎麻生ＲＣ）が 8 月、新たに在大阪モンゴル国総領事に就任されました。今回は、就任にあたり寄せられたメッセージをご紹介します。

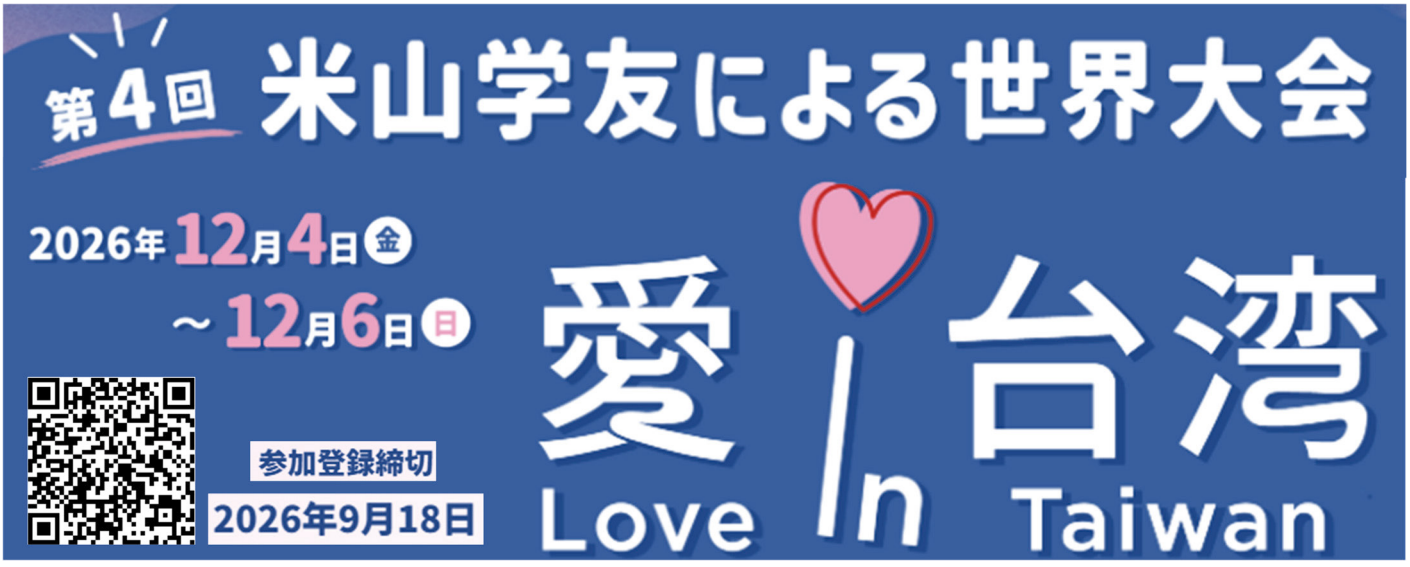
【デルゲルマーさん】



民主主義、自由と人権を尊重する共通の価値観を共有するモンゴル国と日本の「平和と繁栄のための特別なパートナーシップ」関係は、政治・防衛・貿易経済・文化・教育・人的交流などあらゆる分野で深く発展し、両国国民の友好親善はますます強くなっています。モンゴル国総領事として、両国の利益のため、また地域の平和と持続可能な発展のために、このパートナーシップをさらに深めるよう努めてまいります。

2012 年に設立された在大阪モンゴル国総領事館は、西日本の 2 府 14 県を管轄しています。モンゴルの文化や芸術の発信をはじめ、地方間交流や友好親善を推進し、経済・貿易・投資の拡大に貢献したいと考えております。

私にとって大阪は、モンゴル外務省に入省して初めて赴任した思い出深い地であり、大変親しみを感じています。日本のお笑いが好きなので本場で楽しむとともに、豊かな自然や歴史的・文化的な遺産、多くの国宝や重要文化財が残るこの地域に、ぜひ足を運びたいと思っています。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：https://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：長尾（ながお）